

明和町の縄文時代



明和町における縄文時代の遺跡は、現在 36 箇所把握されています。ただし、表採資料や遺構に伴わない出土遺物が多く、明確な集落の痕跡などは特定できていません。

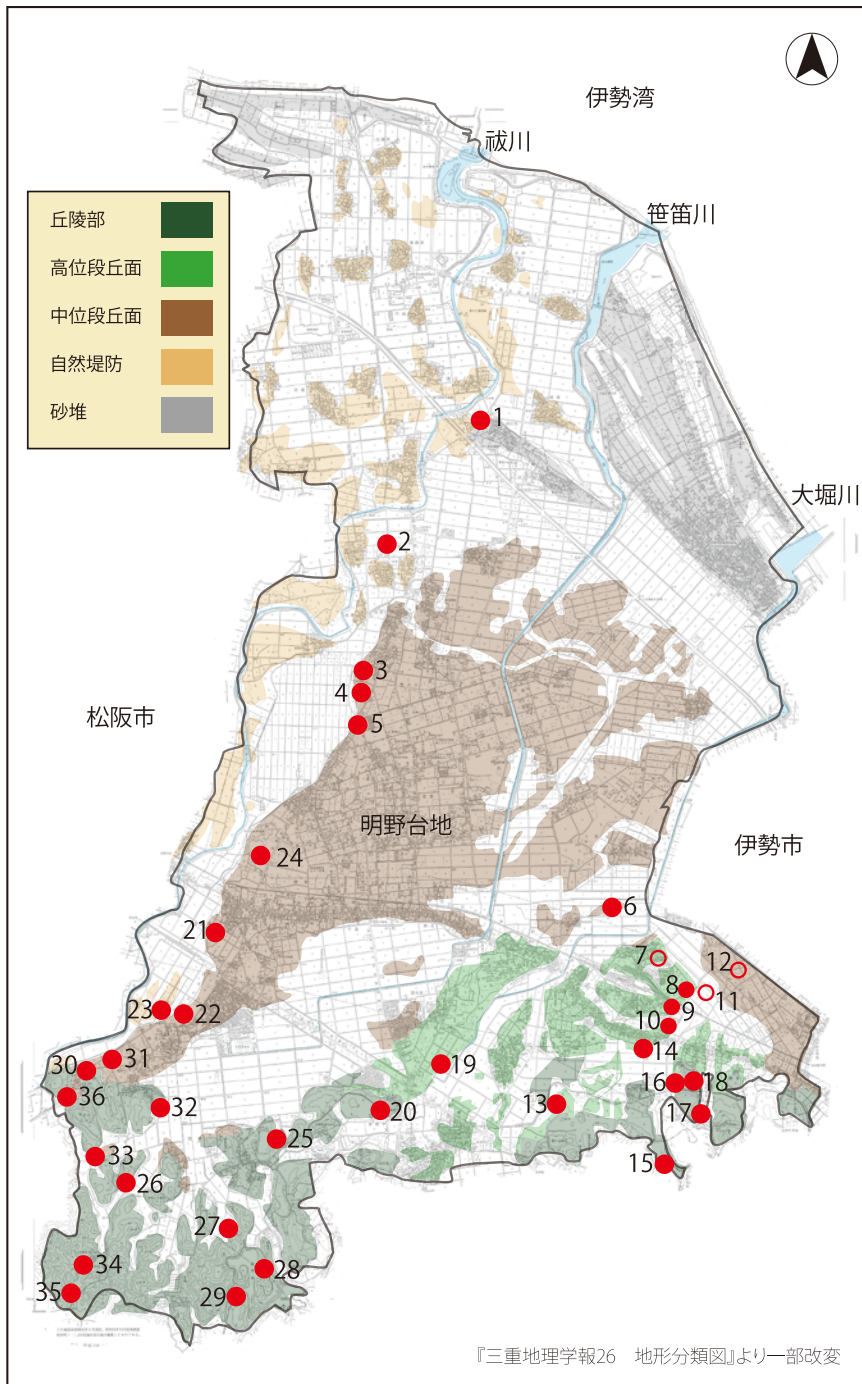
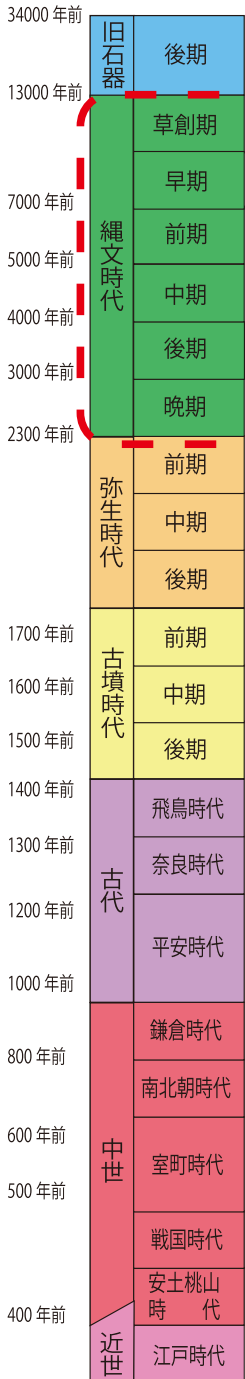
草創期では、当該期の土器は出土しておらず、町南部の丘陵部にある上村池A・B遺跡で有舌尖頭器や木葉形尖頭器、神子柴型石斧が見つっています。

早期では、丘陵部や丘陵裾部に立地するコドノB遺跡、打越遺跡などで押型文土器が確認されています。なお、後続する前期の遺跡は現在のところ町内で見つかりません。

中期では、明星牛場C遺跡や粟垣内遺跡など平地部でも遺跡が確認されています。また、平成 26 年度に行部地区の砂堆上で行った発掘調査で里木II式の深鉢1点が出土しています。

後期では、遺跡の分布域が平地部にも広がり、分布数も増加します。金剛坂遺跡の環状壺形土器などが出土した土坑や、コドノB遺跡の宮滝式期の竪穴住居跡が見つっています。

晩期では、西出遺跡で人面土版が出土しており、氾濫平野部への進出も確認できます。



1	西浦遺跡
2	西出遺跡
3	粟垣内遺跡
4	粟垣外遺跡
5	坂本2号墳
6	曾祢崎遺跡
7	小迫間B地点
8	明星牛場A遺跡
9	明星牛場B遺跡
10	明星牛場C遺跡
11	御前坂遺跡
12	尾野遺跡
13	獅子山遺跡
14	須磨ヶ広遺跡
15	シゲ池遺跡
16	打越遺跡
17	新池東遺跡
18	長岡遺跡
19	北野遺跡
20	発シB遺跡
21	金剛坂遺跡
22	金剛坂里中遺跡
23	神殿遺跡
24	史跡齋宮跡
25	戸峯1号墳
26	丸山B遺跡
27	齋宮池19号墳
28	齋宮池遺跡
29	長谷町遺跡
30	コドノA遺跡
31	コドノB遺跡
32	カゴ山遺跡
33	六ツ葉広遺跡
34	上村池A遺跡
35	上村池B遺跡
36	城山遺跡

～明和町内の縄文時代の動向～

町南部



町北部

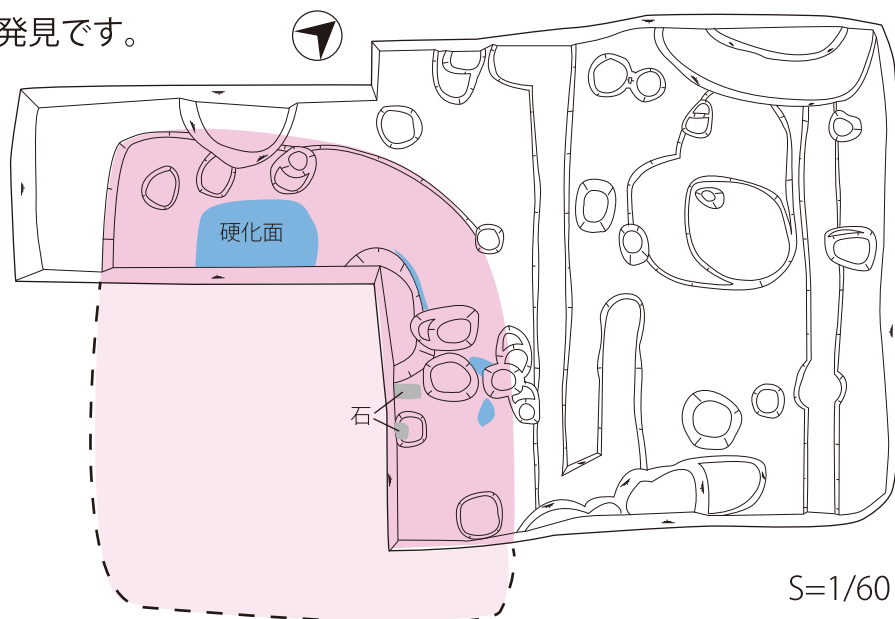
地形分類	遺跡名	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期
丘陵部	上村池A遺跡	○	○				
	上村池B遺跡	○					○
	長谷町遺跡				○	○	
	斎宮池遺跡				○	○	
	斎宮池19号墳						○
	丸山B遺跡		○				
	戸峯1号墳						○
	発シB遺跡		○				
高位段丘面	打越遺跡		○				
	明星牛場C遺跡				○	○	
	明星牛場B遺跡					○	
	小迫間B地点					○	
	北野遺跡				○		
中位段丘面	城山遺跡					○	○
	コドノA遺跡						○
	コドノB遺跡	○	○		○	○	○
	六ツ葉広遺跡		○		○	○	
	金剛坂里中遺跡						○
	金剛坂遺跡				○	○	○
	史跡斎宮跡	○					○
	坂本2号墳					○	○
	粟垣外遺跡					○	○
	粟垣内遺跡				○	○	○
自然堤防	神殿遺跡						○
	西出遺跡					○	○
砂堆	西浦遺跡				○		

平成 26 年度に上村地区のコドノ B 遺跡において、太陽光発電施設の設置工事に伴う試掘調査を実施したところ、縄文時代の竪穴住居跡 1 棟を発見しました。住居跡はヨコ約 3.1m × タテ 3.2m 以上の規模で、大量の縄文土器片や石鏃・石器片が見つかりました。出土した土器は、縄文時代後期後半頃の宮滝式に属するものです。

明和町内ではこれまでの発掘調査で縄文土器が出土していますが、住居跡の発見例はなく、町内における縄文人の活動を知るための重要な発見です。



竪穴住居から出土した縄文土器



S=1/60